



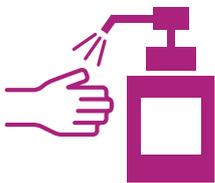
あんぜん、  
あんしん、  
その先へ。

# 感染症拡大 防止への対応

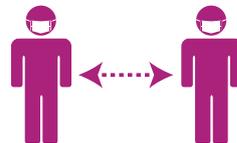
## イオンの防疫の誓い

- イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により、防疫対策を実行します。
- イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します。
- イオンは、お客さまと一体となって防疫体制を構築します。
- イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します。

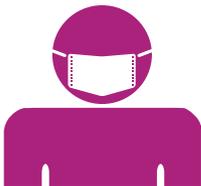
## <お客さまへのご協力のお願い>



入口での手指の消毒の  
実施をお願いします



店内ではお客さま間  
での距離確保を  
お願いします



店内でのマスク着用を  
お願いします



体調がすぐれない時は  
来店をご遠慮ください



イオン  
新型コロナウイルス  
防疫プロトコル

2020年6月30日発行

<監修>

前世界保健機関（WHO）

食品安全・人畜共通感染症部長

イオン(株)アドバイザー

国際医療福祉大学医学部公衆衛生学教授

東京理科大学薬学部教授

宮城島 一明

和田 耕治

堀口 逸子

## 1. 本プロトコルの目的

イオンは、「お客さま第一」の基本理念のもと、企業市民として地域のお客さまとともに、地域社会の発展と生活文化の向上に貢献することを目指してまいりました

新型コロナウイルスの感染が流行している中で、イオンは地域のお客さまとともに本プロトコルを一時的な取組みでなく継続的に実行してまいります。防疫が生活の一部となる社会を実現し、お客さま及び従業員の健康と生活を守り、お客さまとともに地域社会の「安全・安心」な生活を守ってまいります

イオンは、専門家の科学的根拠に基づく助言と最新の知見により防疫対策を実行します

イオンは、防疫対策を全従業員一致団結して実行します

イオンは、お客さまと一体となり防疫体制を構築いたします

イオンは、デジタルを活用しお客さまのタッチポイントを減らす施策、社会的な距離を確保した施設への変更などに投資を実施します

これらの施策により、お客さまにご不便をおかけすることもございますが、ご協力なしには防疫体制は実現できません  
ご理解、ご協力の程よろしく願いいたします

## 2. イオンの取り組み

### (1) 従業員からの感染リスクを防ぎます

- ① 毎日出勤前に体調管理チェックを実施します  
発熱している、のどが痛い、咳が出る、下痢をしているような症状のある従業員は出勤しません
- ② 出勤から退勤・帰宅まで必ずマスクを着用します
- ③ 必要に応じ、手洗い手指の消毒を実施します

### (2) 施設内での飛沫感染、接触感染リスクを防ぎます

#### ① 施設内換気

イオンの施設の多くは、エアコンとは別に強制換気システムを備えており1時間に2回転以上施設内の空気が入れ替わるように外気を取り込んでいます  
各施設の入口に換気能力を表示させていただきますのでご覧ください  
なお、一部強制換気システムが無い小型店舗においては出入口を開放しています

#### ② 混雑時の入場制限

社会的距離に基づく1人あたり基準面積を4㎡/人とし、施設ごとに入場上限お客さま数を決めさせていただいています。状況により入場制限を実施いたします

#### ③ お客さまが交錯しないよう入口と出口を設定します

#### ④ お客さまが必要に応じ手指消毒を実施いただくためにアルコール消毒液を設置します

#### ⑤ 必要に応じ、販売方法の変更を実施します

パン・総菜のばら売り・裸売りをやめ、トングを使用しないようにします

#### ⑥ 接客・レジカウンターに飛沫防止アクリルガラスまたはビニールシートを設置します

#### ⑦ 食品レジに飛沫防止アクリルガラスを取り付けます

#### ⑧ 優先対象レジを設定します

高齢者・妊娠中・障がいをお持ちのお客さまが出来るだけ短時間でお買い物が出来る環境を提供いたします

#### ⑨ レジ待ち等、お客さまにお並びいただく必要がある箇所には、社会的距離確保の目印（足形マーク）を2m間隔で貼付します

#### ⑩ エレベーターは最大4人乗りとし、分割表示、足形を貼付します

#### ⑪ キッズコーナーの遊び場とタッチ&トライ等は利用を中止いたします

#### ⑫ 休憩用ベンチやギャザリングスペースの椅子について、撤去及び使用制限をしています

#### ⑬ フードコート・イートインコーナー

2mの社会的距離確保のため、席数を減らしスクール形式か対面の場合は向かい席をあける座席配置としています

なお、同居のご家族さまは、1家族1テーブルでご利用可能です

#### ⑭ トイレ・手洗い場（洗面台）

ハンドドライヤーの使用を中止しています

自動水栓を導入推進しています（水栓に手を触れる必要がないように）

正しい手洗い用に液体せっけんを設置しています  
 施設内の距離確保のために一部利用制限をしています

⑮喫煙室につきましては、利用を中止しています

(3) 消毒清掃による除菌により接触感染を防ぎます

① 拭き上げ清掃を下記のとおり実施しています

◆場所別 拭き上げ清掃箇所：使用清掃液・清掃頻度

清掃場所	アルコール 拭き上げ	界面活性剤 拭き上げ	清掃頻度
かご・カート取っ手	○	○	都度
エスカレーター手すり	○	○	毎時
エレベーターボタン	○	○	毎時
階段手すり	○	○	2回/日
冷凍食品陳列ケース取っ手	○	○	毎時
セルフレジ アクリルガラス	×	○※1	3回/日
作荷台	○	○	4回/日
ドライアイス・製氷機取っ手	○	○	3回/日
WAONステーションタッチ パネル	×	○※1	2回/日
ATMタッチパネル	×	○※1	1回/日
自動販売機ボタン	×	○※1	2回/日
お客さまロッカー取っ手	○	○	2回/日
ゴミ箱投入口	○	○	3回/日
椅子・ベンチ・ソファー 肘掛・シート	○	○	3回/日
ガチャガチャボタン	○	○	2回/日
リサイクルBOX投入口	○	○	3回/日
傘袋BOX取口	○	○	3回/日
駐車場発券機ボタン	×	○	1回/日
駐車場精算機ボタン	○	○	3回/日
EVステーション充電口	○	○	1回/日

※1：ATMなどの液晶画面の清拭は「中性洗剤」を使用

(中性洗剤は希釈使用で、多くは2度拭きが必要な処方)

### 3. お客様への感染防止策への協力をお願い

- (1). 入口での手指の消毒・検温（非接触式体温計設置店舗）の実施をお願いします  
体調がすぐれないときは、来店をご遠慮ください
- (2). 来店時のマスク着用をお願いします
- (3). エスカレーター、エレベーターでの移動やレジでお並びいただく際は一定間隔の確保をお願いします
- (4). 店内混雑時の入場制限へのご協力をお願いします
- (5). お会計時の電子決済やセルフレジのご利用を推奨します
- (6). 必要に応じトイレ・手洗い場（洗面台）で手洗いをお願いします

※本プロトコルは、随時改訂を行い2020年12月末までを当面の期間とする

## 参考

### <新型コロナウイルスとは>

- 新型コロナウイルスは、ワクチン接種などの確実な予防方法が無い場合、曝露対策が最大の感染防止策となっています。
- 新型コロナウイルスは、主に、鼻や口から出る飛沫を通じ人から人へ感染します。感染者の鼻水や唾液が付着した表面にさわった手で自分の粘膜に触れ、間接的に感染することもあります。飛沫感染や接触感染に比べ、食品を通じた感染リスクは無視できると考えられています。伝染のしやすさは、空気感染する麻疹（はしか）、飛沫感染する風疹やおたふく風邪よりもずっと低く、インフルエンザと同程度ではないかと報告されています。
- 現在、新型コロナウイルスに対するワクチンや特別な治療薬は未だ開発中であるため、患者の症状に合わせた対症療法が行われています。感染してもほとんど無症状のまま終わる人が少なくない一方、高齢者や持病のある人が発症すると、症状が重くなる危険性がそれ以外の人に比べて大きいと報告されています。
- 2020年6月25日現在、世界で944万人以上の感染者・48万人以上の死者が報告され、感染は世界中の国と地域に広がっています。

### <経過や症状>

- 潜伏期間（ウイルスが体内に入ってから症状が出はじめるまでの期間）は2～12.5日（多くの場合5日前後）といわれており、発症の2日前から周りの人への感染力が現れます。
- 感染しても全く症状が現れない人や、軽微な症状で済む人が4割程度いると考えられています。
- よく見られる症状は、発熱・せき・強い倦怠感（体のだるさ）、味覚異常、下痢などです。これは一般的な風邪の症状に似ていますが、症状が長引く傾向があります。多くの人は特別な治療を必要とせず、自然に軽快します。重症化し、肺炎と診断された人では呼吸困難の症状が現れ、入院治療が必要です。特に高齢の人や基礎疾患のある人が発症すると重症化する傾向があります。

### <どのように感染するのか>

◇飛沫感染とは？（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）

感染した人の咳・くしゃみ・つば・鼻水など飛沫の中に含まれているウイルスを口や鼻から吸い込むことにより感染することです。

◇接触感染とは？（手で触れることによる感染）

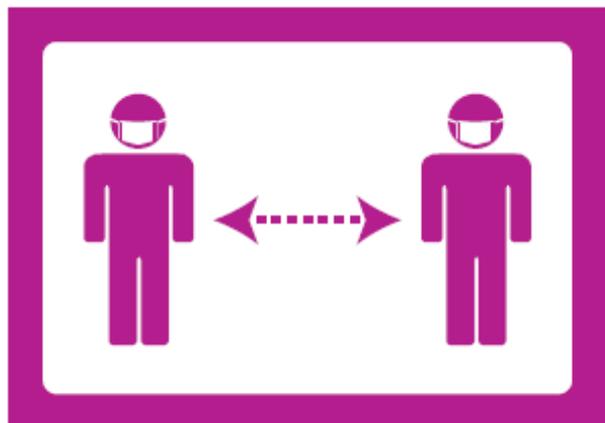
ウイルスが付着したドアノブ、スイッチ、手すりなど周りの物や場所に触れた手指で鼻や口や目に触れることで、粘膜を通じてウイルスが体内に入り感染することです。

◇ウイルスはヒトの体外でどのくらい生きられる？

空気中に放出された飛沫の中のウイルスは数時間しか生存できない（1～2時間毎に半減）ものの、個体表面に付着したウイルスは、段ボール紙やティッシュペーパーの表面では数時間で死滅する一方、紙幣やガラスの表面では4日間、ステンレスやプラスチック、外科用マスクの表面では7日間生き延びるといった報告があります。一般に、高温乾燥の環境でウイルスは早く破壊され、低温多湿の環境では生き延びやすいことがわかっています。石鹸水での丁寧な洗浄、あるいは70%アルコール（エタノール）の塗布は、ウイルスを効率よく死滅させます。表面に汚れがあると、アルコールの働きは減殺されます。医療用マスクは使い捨て、布マスクは毎日洗浄することが必要です。

## イオン統一ピクトグラム

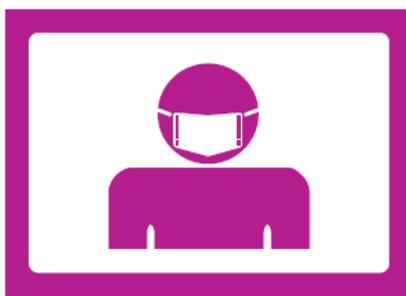
□共通：キープディスタンス



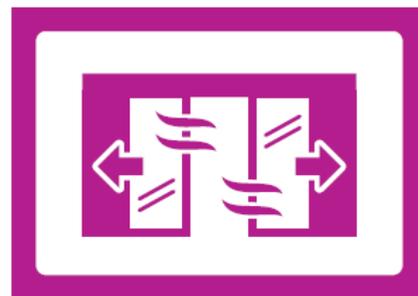
□出入口・風除室  
(手指の消毒)



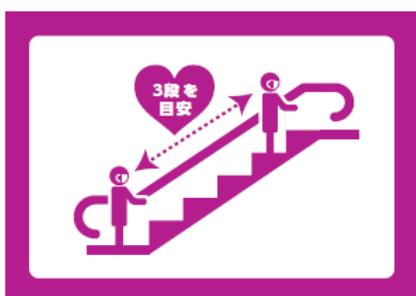
(マスクの着用)



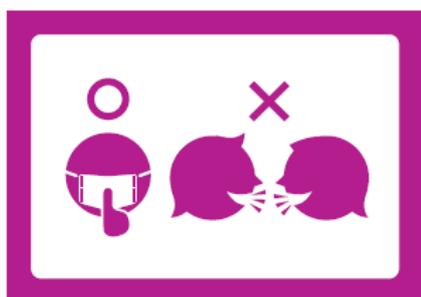
(出入口の換気)



□エスカレーター  
(3段を目安)



(会話は控えめ)



(体調がすぐれないときは、来店をご遠慮ください)

